



学校要覧

農にときめき  
農にきらめき  
笑顔あふれる  
農の人づくり



専修学校

**滋賀県立農業大学校**

〒521-1301 滋賀県近江八幡市安土町大中 503

TEL 0748-46-2551 FAX 0748-46-2552

URL <http://www.pref.shiga.lg.jp/g/nogyo-nodai/>

e-mail [gc61@pref.shiga.lg.jp](mailto:gc61@pref.shiga.lg.jp)



## 沿革

昭和44年	4月	滋賀県立高等営農学園を開校する（定員：本科80名、別科若干名）
昭和45年	4月	短期研修科を設置する（定員：若干名）
昭和50年	4月	滋賀県立営農大学校と改称する（定員：本科40名、別科10名、短期研修科若干名）
昭和52年	10月	農林水産省の農業者研修教育施設（農業改良助長法による）指定校となる
昭和54年	4月	別科を廃止、本科定員50名とする
平成元年	4月	滋賀県立農業大学校と改称する（定員：本科30名）
平成11年	4月	研修科を設置する（定員：若干名、6ヵ月）
平成19年	4月	農林水産省の農業者研修教育施設に加え、 文部科学省の学校教育法に基づく専修学校となる 本科を養成科と改称、研修科を就農科に改組する（定員：若干名、1年） 寮制度を廃止する
平成26年	4月	就農科を定員10名とする

## 教育方針

本県の次代の農業経営を担う優れた人材を育成するとともに、地域社会における農業の振興等に指導的役割を果たす、個性豊かな人材を養成する。

- 1 近代的な農業を行うために必要とされる高度な専門知識技術および経営能力を養成する。
- 2 実践学習を通じて、農業者としてふさわしい幅広い視野を持った経営能力および組織活動能力を養成する。



## 校歌

作詞 太田活太郎  
作曲 北村昭

一、水うるわしき びわのうみ  
ここ営農の まなびやに  
つどいし我等 若き者  
今この道に このわざに  
むすびもかたく あらたなる  
希望は空に にじをふく

二、かぜさみどりの 大なかの  
ここ営農の まなびやに  
ちかいし我等 若き者  
今この土に このくわに  
湖国の文化 開きつつ  
打ちこむ力 汗を呼ぶ

三、雪さやかなる 比良の峰  
ここ営農の まなびやに  
きたえし我等 若き者  
今この腕に この胸に  
青春の夢 かたむけて  
つらぬくまこと 花と咲く



# 養成科

優れた青年農業者を育成するため、高等学校を卒業した者。  
または、同等以上の学力を有すると校長が認めた者を対象に実践教育を行います。

## □教育課程

### 専攻コース・教育場所

課程	専攻コース	教育場所	修業年限	入学定員
農産	作物	農業大学校	2年	1学年 30名
	茶	農業大学校、茶業指導所		
園芸	野菜	農業大学校		
	花き			
	果樹			
畜産	畜産	農業大学校、畜産技術振興センター		

※専攻コースの教育場所は1学年9月以降で、それまでは全員本校となります

※茶業指導所は甲賀市水口町水口波濤ヶ平、畜産技術振興センターは蒲生郡日野町山本にあります

## □教育体系

月別	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
第1学年	入学式 共通学習	教養・ 農業体験学習Ⅰ	教養・共通 学習		夏期 休業	教養・共通学習・専攻学習			冬期 休業	共通学習 専攻学習		春期 休業
第2学年	春期 休業	専攻学習			夏期 休業	農業体験 学習Ⅱ	共通学習 専攻学習		冬期 休業	共通学習 卒論作成		卒業 式

※1年後期以降にも一部教養学習はあります

- ・春期休業は 3月21日～4月10日
- ・夏期休業は 7月21日～8月31日
- ・冬期休業は 12月23日～1月7日

## □年間行事等

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
行事名	入学・入校式	東海近畿地区スポーツ大会 トラクタ研修 校内体育大会 プロジェクト計画検討会 1年生農業体験学習(5日間)	けん引研修	前期試験		2年生農業体験学習(2カ月)	トラクタ研修 1年生研修旅行	けん引研修 収穫祭 農業体験学習報告会	プロジェクト研究発表会	後期試験① 東海近畿農業大学校研究・意見発表会	全国農業大学校学生交換大会・発表会	後期試験② 卒業証書・修了証書授与式



## □教育科目

### ◎ 教養科目

経済 法律 倫理Ⅰ・Ⅱ 地理 情報処理Ⅰ 農業基礎 学習方法論Ⅰ・Ⅱ

### ◎ 共通科目

農業政策 農業経営 農業簿記 農産物流通Ⅰ・Ⅱ 農業技術概論Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ  
農業機械(学科・実技) 土壌肥料 農薬概論 6次産業化農業 特殊技術学習  
労働衛生 環境と農業 情報処理Ⅱ 気象と農業災害 基礎実習 農業体験学習Ⅰ・Ⅱ

### ◎ 専攻科目

#### 農産(作物)

作物総論 水稻栽培Ⅰ・Ⅱ 稲作経営  
水稻こだわり栽培 麦類の栽培  
大豆栽培 作物病虫害 植物病理  
応用昆虫 育種と採種 水田作野菜  
農業機械Ⅰ・Ⅱ 農業機械利用  
大規模経営と集落組織  
水田雑草対策 専攻演習(ゼミナール)  
実習及びプロジェクト学習 卒業論文

#### 園芸(野菜)

野菜総論 トマト栽培 キュウリ栽培  
イチゴ栽培 メロン栽培 ナス栽培  
結球・花野菜栽培 根菜類栽培  
軟弱野菜栽培 植物病理 園芸用施設  
応用昆虫 野菜経営Ⅰ・Ⅱ  
野菜流通Ⅰ・Ⅱ 野菜病虫害Ⅰ・Ⅱ  
専攻演習(ゼミナール)  
実習及びプロジェクト学習 卒業論文

#### 園芸(果樹)

果樹総論 カキ栽培 ナシ栽培  
ブドウ栽培 モモ栽培 イチジク栽培  
ブルーベリー栽培 各種果樹栽培  
果樹経営Ⅰ・Ⅱ 果樹栽培環境  
果実の加工 果実の化学 応用昆虫  
植物病理 果樹病虫害Ⅰ・Ⅱ  
専攻演習(ゼミナール)  
実習及びプロジェクト学習 卒業論文

#### 農産(茶)

茶業経営Ⅰ・Ⅱ 茶の栽培基礎Ⅰ・Ⅱ  
茶の栽培応用Ⅰ・Ⅱ 茶の病虫害Ⅰ・Ⅱ  
茶園土壌 茶園の施肥法Ⅰ・Ⅱ  
茶の化学 茶の製造・再製Ⅰ・Ⅱ  
専攻演習(ゼミナール)  
実習及びプロジェクト学習 卒業論文

#### 園芸(花き)

花き総論 バラ栽培 カーネーション栽培  
草花栽培Ⅰ・Ⅱ キク栽培  
宿根草・球根類栽培 鉢花・花苗栽培  
洋ラン・観葉植物栽培 花き経営Ⅰ・Ⅱ  
フラワーデザインⅠ・Ⅱ 植物病理  
応用昆虫 花き流通 花き病虫害  
園芸用施設 専攻演習(ゼミナール)  
実習及びプロジェクト学習 卒業論文

#### 畜産(畜産)

畜産総論 畜産経営 畜産物流通  
家畜育種 飼育管理Ⅰ・Ⅱ 家畜栄養  
家畜衛生 家畜繁殖 生物工学  
家畜解剖 飼料作物Ⅰ・Ⅱ  
専攻演習(ゼミナール)  
実習及びプロジェクト学習 卒業論文

### ◎ 特別活動

- 学校行事 入学・入校式 始業式 終業式 卒業・修了証書授与式  
東海近畿学生スポーツ大会 校内体育大会 研修旅行 収穫祭
- 特別教育 指導農業士・本校卒業生の講話 進路ゼミ 合宿研修 特別講義
- 自治活動 学生自治会主催の活動(球技大会等)



## □専攻別学習内容・実習

### ●作物コース

水稲や麦・大豆などの栽培技術や省力、低コスト栽培、有機栽培、食味向上などの技術を習得します。



### ●茶コース

1200年の歴史と伝統ある近江茶の栽培と近代的な製茶技術を習得します。



### ●野菜コース

トマトやキュウリなど果菜類の少量土壌培地耕や露地野菜の栽培技術を習得します。



### ●花きコース

カーネーションやバラ・キク切花栽培技術シクラメンなどの鉢物、花苗、など多彩な品目の栽培技術を習得します。



### ●果樹コース

ブドウ・ナシ・モモ・カキ・イチジク・ブルーベリーなどの果樹栽培技術を習得します。



### ●畜産コース

近江牛や肉用鶏の飼育技術の習得と畜産経営の理論を学びます。





## □学校生活

僅か2年間の学生生活の中、少ない学生数にもかかわらず各専攻学習や、資格取得に励んでいます。また自治会活動では自主的にいろんな活動を行っています。

### ○サークル活動、学校行事等



全員参加の東海近畿地区スポーツ大会



1年生・研修旅行



全国農業大学校学生発表大会



東海近畿農業大学校研究・意見発表会



入学・入校式



農大農産物直売所「フレッシュ503」



## □多様な技術の習得

### ○農業機械等の研修

大型特殊自動車であるトラクタの運転技術およびけん引運転技術の習得とその免許取得に向けた研修です。



トラクタ基本運転練習



トラクタけん引運転練習

## □特典と資格免許の取得

### ○特典

- ・本校養成科の課程を修了した者（以下 卒業生）には「専門士」の称号を与えられます。
- ・卒業生は、人事院規則・滋賀県人事委員会規則上、短期大学卒業と同等に扱われます。
- ・卒業生または卒業見込みの者は4年制大学への編入学試験の受験ができます。  
（ただし、編入学制度をもつ大学のみ）
- ・独立行政法人日本学生支援機構の奨学金を受けることができます。
- ・就農する者は、制度資金等各種支援を受けることができます。
- ・公益社団法人国際農業者交流協会などが行う海外農業研修に応募できます。

### ○資格取得

希望者は、就農や就職に必要なとされる各種資格の取得が可能です。

- ・大型特殊免許（農耕用）
- ・けん引免許（農耕用）
- ・危険物取扱者（乙種各類）
- ・毒物劇物取扱者（農業用品目）
- ・ボイラー取扱技能講習
- ・フォークリフト運転技能講習
- ・アーク溶接特別教育
- ・ガス溶接技能講習
- ・家畜人工授精師（畜産専攻生）
- ・農業機械士
- ・床上操作式クレーン運転技能講習
- ・小型移動式クレーン運転技能講習
- ・玉掛け技能講習
- ・小型車両系建設機械運転特別教育
- ・車両系建設機械技能講習



アーク溶接実習



小型車両系建設機械運転実習



## □進路状況

- ◎ 農業専従者（自営および雇用就農） 35%程度
- ◎ 農業関連企業就職 40%程度
- ◎ その他企業就職等 25%程度

平成26年末までの卒業生総数は1,094名で、うち就農者は397名、農協や農業関連企業就職者は430名、その他企業等就職者は267名となっています。

就農者は滋賀県農業の担い手として、自営だけでなく農業法人でも活躍しています。また、農協や農業関連企業に就職した者も地域農業の指導的な役割を果たし活躍しています。さらに卒業後、海外研修（アメリカ・ヨーロッパ 1～2年間）に参加する者もいます。

## ● 就農科

本県において就農をめざす優秀な人材を育成するため、就農に必要な実践的栽培技術や経営管理手法をそれぞれの経験や熟度に応じて習得することにより、円滑な就農を促し、安定した農業経営の実現をめざします。

## □専攻コース

専攻コース	修業年限	定員
野菜	1年	10名
花き		
果樹		

## □研修内容

個々の研修生の知識・経験等を勘案しながら農業経営に必要な実践的な講義ならびに実習を行います。

実 習	<b>●栽培管理実習</b> 野菜専攻コースは、就農科専用の施設を活用して栽培管理技術を習得します。 花き・果樹専攻コースは、養成科の施設を活用して栽培管理技術を習得します。	
	<b>●販売管理実習</b> 栽培管理実習で得られた生産物について、研修生自らが販売実習を行い、実践的販売管理を学びます。	
	<b>●経営管理実習</b> 栽培管理実習・販売管理実習の結果を記帳し、実習の成果を数字で表すことにより緊張感ある実習とします。	
講 義	<b>●経営管理技術</b> <ul style="list-style-type: none"><li>・農業経営管理基礎</li><li>・農業政策・法務</li><li>・パソコン農業簿記</li><li>・農業マーケティング論</li></ul>	<b>●栽培管理技術</b> <ul style="list-style-type: none"><li>・専攻コースの概論（野菜・花き・果樹のいずれか）</li><li>・選択作目の生理・生態</li><li>・選択作目の栽培管理法</li></ul>
	※この他に養成科の講義を聴講することができます。	
	<b>●就農計画ゼミ</b> <ul style="list-style-type: none"><li>・研修修了後の農業経営について経営計画を樹立します。</li></ul>	
	<b>●就農検討会</b> 研修生の就農先の指導機関との連携のもと、研修の進行管理や就農に向けての検討を行います。	



● その他

就農に向けて必要な資格・技術は養成科の講義を受講することにより取得することができます。  
(養成科の資格取得を参照)





# 研 修

## □開放講座

広く農業者や一般県民を対象に、農業に対する理解と関心を深めるとともに、農業知識や技術の普及を図るため実施します。

(平成27年度実施予定の内容です)

研修の種類	対象者	講座名		定員	期間
《1》 園芸講座	一般県民	果樹栽培の基礎知識	春から秋の栽培管理	80名	2時間
		野菜づくりの基礎	秋冬野菜の栽培技術	80名	2時間
		花づくりの基礎	鉢花・切花栽培技術	80名	2時間
		果樹の冬場の管理	剪定・施肥・植栽	80名	2時間
		野菜づくりの基礎	夏野菜の栽培技術	80名	2時間
《2》 IT講座	農業者	IT農業経営簿記講座 (複式簿記の基礎、パソコン簿記の財務諸表の作成)		20名	2日



機械研修風景



開放講座風景

## □農業機械研修

農業者を対象に、大型農業機械利用技術ならびに農作業安全に対する知識や技術の習得を図るため実施します。

(平成27年度実施予定の内容です)

研修名	研修内容	定員	期間
トラクタ基本研修	トラクタの構造、運転操作等の基本的な知識と技能習得	20名	5日間
けん引研修	トレーラの運転操作およびけん引作業機の運転と安全操作の習得	15名	5日間
農業機械士養成研修	オペレータとして大型・高性能な農業機械を使うのに必要な知識と技能の習得	20名	4日間
農作業安全研修	農作業安全に対する知識と技能の習得	20名	半日



# 本校施設

## 教育研修施設配置図



用地	敷地 (総面積)	85,906㎡
	農業用地	64,251㎡
	農業外用地	21,655㎡

本館および付属施設	延べ	面積
研修館 (校長室、職員室、教室、会議室、図書室等)	延べ	925㎡
あしば研修館 (情報処理室、ゼミ室、就農相談室等)		358㎡
学生会館 (学生ホール、談話室、浴室、保健室、宿泊室等)	延べ	1,265㎡
体育館		694㎡
トラクタ練習場		5,500㎡

専攻学習施設	ほ場	水田	面積
		435 a	
		果樹園	41 a
		露地畑	30 a
	施設	ガラス温室	9棟 2,080㎡
		鉄骨ビニールハウス	1棟 300㎡
		ビニールハウス	13棟 1,950㎡
		農業機械研修室	120㎡



## 本校所在地と交通手段 ACCESS

- ◆JR琵琶湖線「安土駅」より5 km、タクシー10分
- ◆JR琵琶湖線「能登川駅」より5 km、タクシー10分

